

ぶどう通信

第16号

平成14年2月1日

不況を回復させる人よりも頼れるリーダーの出現を心待ちにするこのごろです。

東京広島県人会

澄み切った青空とともに寒さもやってきましたが、皆さんお元気にお過ごしでしょうか。私たち夫婦は、正月に広島に帰省した際、お土産に二人とも風邪をもらってきてしまいました。したが、ようやく回復したところですが、いつもはそんなに寒くないのですが、今年の広島は正月から雪まで降ってくる始末。本当に大変でした。さて、不況、不況と言われながらも小泉首相が何とかしてくれるのでは？などと思っていました。が、外務省のゴタゴタから真紀子さんがくびになり、いよいよ不安が募ってきました。皆さんは混迷の日本の時代を乗り越えてこられた大ベテランです。なのでこの程度ではビクともしないと思います。が、昭和四十年代生まれの僕たちにとってはやっぱり不安です。

僕が上京したのは昭和六十年、野球好きならすぐに思い出すあの阪神タイガースが優勝した年です。そろそろ広島で育った期間よりも東京暮らしが長くなってしまいました。初めて「東京広島県人会」というものに夫婦で行ってきました。場所は赤坂プリンスホテル、政治家や財界の人などを中心に500人ほどの大パーティーでした。もちろん僕たちは一般参加者ですから知る人もおらず、立食パーティーを楽しんでいました。しかし、よく見ると有名人もズラリ。山本浩二カープ監督や古葉元監督、安芸島や北桜、政治家でいうと宮沢元首相などなど。サッカーJ1

の「サンフレッチェ広島」の今西総監督とお話していると、昔、僕の父親（整形外科医）の患者だったとか。おかげで昔話や現在のチーム事情まで話してもらいました。現在新外国人選手のテストをしているらしいのですが、いい選手が来るようです。ミーハーな僕たちにはうってつけのパーティーでした。